

ボランティアの派遣で被災農家を支援しています

奥能登農林総合事務所

令和6年1月1日に発生した能登半島地震や令和6年9月の集中豪雨により、奥能登の農業は大きな被害を受けました。県では令和6年4月以降、営農の再開・継続に向けた支援として、能登農林水産業ボランティアの派遣を行っています。

これまでに依頼が多い作業は、水路の泥上げ、草刈り、納屋や施設の片付けで、豪雨で水田へ流れ込んだゴミや流木等の片付けなども行っています。奥能登2市2町では、令和7年1月末までに326件、延べ2,306名と多くのボランティアにご支援を頂きました。被災農家からは、綺麗に片付いたハウスを見て、次の作付けへの営農意欲が湧いてきた等の声を頂いています。

奥能登農林では被災農家の声を聴き、ボランティアが必要な作業や時期、人数等を把握して募集調整する他、実際の作業を行う際には、草刈機やスコップ等の必要な用具を準備するなど、被災農家に寄り添い、現場での地道な復旧・復興を支援しています。

長期の避難等で地域の共同活動の人手が不足して困っているという場合等、是非、お気軽にご相談ください。



草刈り作業開始前の説明



出荷できない農作物の片づけ作業支援

※いずれもビブスを着用しているのが能登農林水産業ボランティア

問い合わせ先：農業振興部（0768-26-2323）